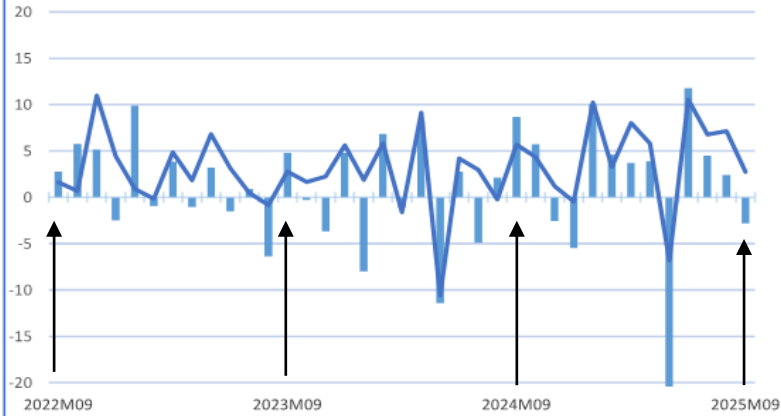


オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年9月）



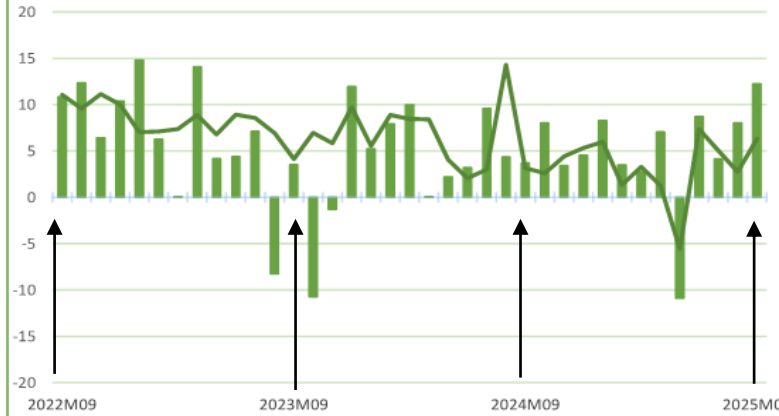
工業活動に関する景況感



棒グラフ：AuRA州、線グラフ：全国



サービス活動に関する景況感

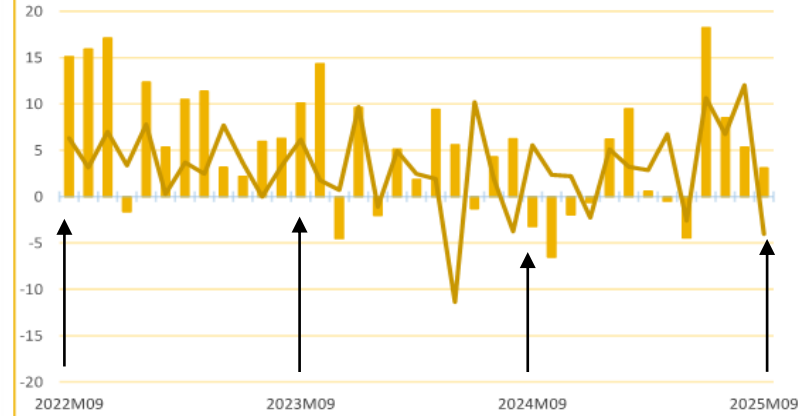


棒グラフ：AuRA州、線グラフ：全国



2025年10月 在リヨン日本領事事務所

建設活動に関する景況感



棒グラフ：AuRA州、線グラフ：全国

ポイント

- 9月のAuRA州の景況感は、多くの不確実性により意思決定が遅れた状況下で、サービス部門以外は前月よりも減退した。
- **工業部門**の景況感はセクターにより程度の差はあるものの、AuRA州ではわずかに減退したが、全国的にはやや好調を維持している。生産能力の稼働率は歴史的に低い水準にとどまった。原材料価格と販売価格はこの1カ月でわずかに上昇した。受注残は依然として不十分ではあるものの、今後数週間でわずかに回復する見通し。
- **サービス部門**は、AuRA州では特に外食、道路輸送、法務・会計の各分野が全国平均を上回るペースで加速した。物価上昇は緩やかで、雇用は全体的に安定している。短期的には、不確実な状況が一部の意思決定に影響を与えていることを考慮し、経営者は慎重姿勢であり、せいぜい業務量の維持を見込んでいる程度である。
- **建設部門**では内装工事の活況によりAuRA州では好調を維持したが、全国的には減退した。公共工事は前四半期の落ち込みから第3四半期には小幅な回復が見られた。見積価格は業界全体で引き続き下落した。受注残は全体的に不十分であると見られており、経営者は慎重な姿勢であり、短期的には事業活動の縮小を見込んでいる。
- 特にサービス部門と建設部門において、顧客による支払遅延により、企業経営者は資金繰りが逼迫している状況を指摘している。

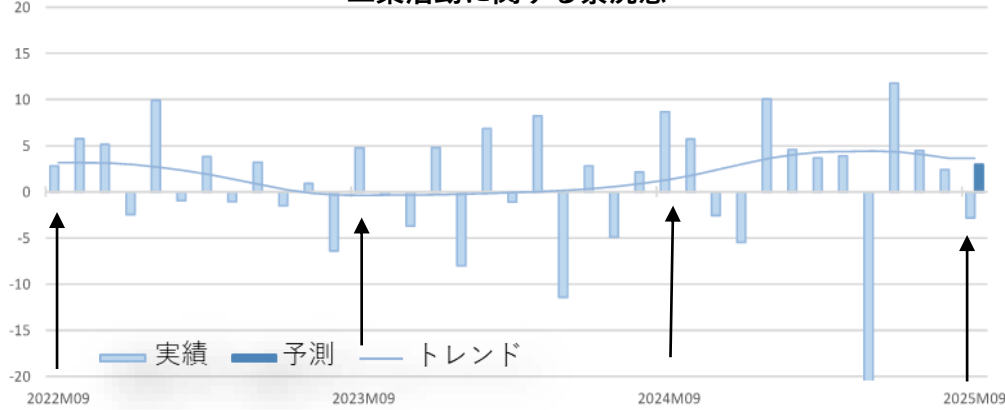
* 各部門におけるセクター毎の調査結果は下記の出所（仏語）をご覧ください。

- フランス銀行が、AuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年9月26日～10月3日）。
- 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年9月） ：実績、翌月の予測、トレンド

工業活動に関する景況感

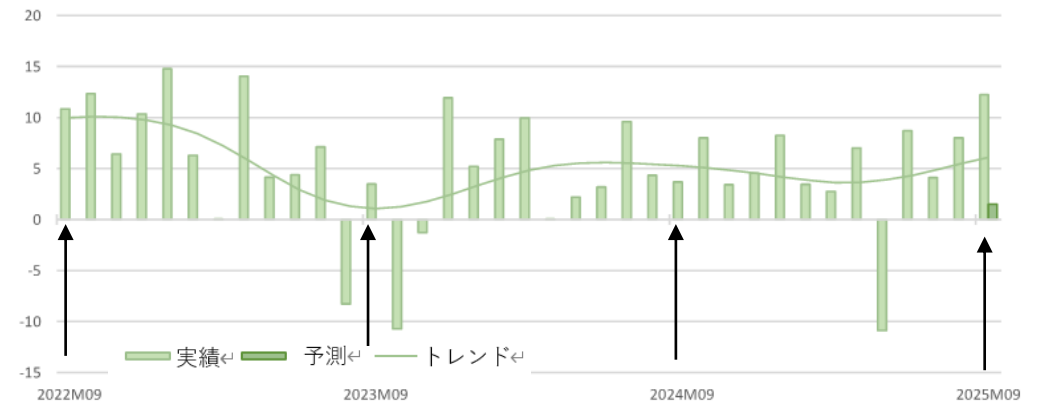


工業部門の景況感はわずかに減退した。機械・設備、IT・電子製品、食品、繊維・アパレル・皮革セクターの景況感は大幅に伸長した一方、ゴム製品、木材・紙・段ボールセクターでは明らかに減退した。原材料価格も完成品価格もほとんど変化がなかった。雇用数は減少した。受注残は依然として不十分と見られているが、今後数週間で事業活動はわずかに増加すると見込まれる。

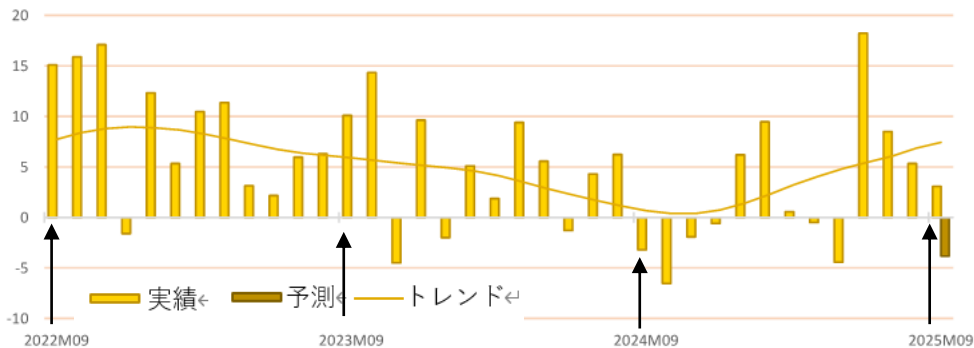


9月には、宿泊、人材派遣、IT関連等のセクターでは景況感が低迷したものの、その他のサービス・セクターでは景況感の伸びが加速し、業界の活力を反映した。価格は緩やかに上昇。雇用は全体的に安定していた。短期的には、企業経営者は慎重な姿勢を保ち、業務量は現状維持されると予測している。

サービス活動に関する景況感



建設活動に関する景況感



ここ数カ月間の建設部門の景況感の高い伸びは9月に減速に転じた。内装工事は好調を維持したものの、基礎工事は明らかに落ち込んだ。公共工事は前四半期の落ち込みの後、わずかに回復が見られた。見積価格は業界全体で下落が続いている。基礎工事と公共事業では受注が不十分とみられているが、内装工事では比較的充実している。短期的には、国内に多くの不確実性が存在する状況下で、業界関係者は事業の全般的な縮小を予測している。